

公益社団法人 茨城県作業療法士会  
平成 29 年度 第 4 回常任理事会 議事録

日時：平成 30 年 1 月 21 日（日） 9：00～12：00

場所：茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）

出席：（理事）大場、角田、小森、大内、笥、武士、富永、宇都木

書記：大内、開江（総務副部長）

【 I 審議事項】

1. 平成 30 年度診療報酬・介護報酬改定研修会開催について（富永制度対策部長）→承認
  - ・内容：富永理事が日本作業療法士協会開催の研修会・3 月 4 日（日）に参加予定。その復命講習となる。
  - ・日時：平成 30 年 3 月 25 日（日）9：00～（予定）
  - ・会場：茨城県立医療大学
  - ・講師：診療報酬：富永理事、介護報酬：浅野先生→関理事に依頼中、スタッフ 2 名ほど検討中
  - ・参加範囲：非会員の参加もよいか。→3 月 4 日の研修参加時に協会へ確認する。ひとまず県士会員向けとする。
  - ・会費：県士会員は参加費無料（資料代は 500 円）
  - ・広報：まず、紙媒体で郵送を行なうか、HP 上での掲載を行なうかなど、富永理事にて検討。（県士会員内向きで開催予定で、会員外にオープンにするかどうかは協会研修後に再検討となる。）
  - ・上記で随時検討し、すすめてもらう。
2. イキイキ地域づくり事業部の新事業について（小森事務局長・細田イキイキ地域づくり事業部長代理）→承認
  - ・「聞きたい知りたい」出前講座を企画している。講座を通して地域住民とのつながりを続けていきたいところ。
  - ・テーマは、認知症、発達支援、精神、高次脳機能障害などで検討する。広報について、まずは地域包括支援センターに行なっていくことになることになると、認知症関連が中心となるか。
  - ・その他、認知症などに限らず、他のテーマで依頼があれば、イキイキ地域づくり事業部で検討できる体制となる。（以前、齋藤部長が学校訪問した際、“リハビリ”をテーマに講演ができるかという話があった。）
  - ・ユーザー支援事業との絡みについては、現時点では保留。今後は、状況に応じて前向きに検討はしていく。
  - ・上記で随時検討し、すすめてもらう。
3. 地域ケア会議人材育成研修開催について（小森事務局長・細田イキイキ地域づくり事業部長代理）→承認
  - ・地域ケア会議が、各市町村で行なわれるにあたり、作業療法士の参加促進と質の向上が急務となっている。現在、茨城県リハビリテーション専門職協会（IRPA）にて介護予防推進リーダー研修を実施しているが、OT としての人材育成の体制の充実を図りたい。（IRPA の研修に参加していない OT についても本研修への参加は可能だが、IRPA への参加もすすめていく。）
  - ・認定制度を設置予定とする。認定地域ケアアドバイザー（仮）を養成する。
  - ・修了者にはピンバッジを贈呈してはどうか。地域ケア会議参加時につけて出ること、研修修了者であることが明確に示すことができる。
  - ・フォローアップについては、地域会議へ出席された方を主体にすすめていければオープンとし、公益事業としたい。
  - ・まずは、中堅者研修時に広報する。

- ・上記で進めていただき、詳細について理事会で提出していただきたい。

#### 4.平成 30 年度事業計画・予算案について

(武士財務部長) →一部承認

- ・前回の常任理事会後の検討。主要なところは下記の通り。
- ・会員 989 名 890 万を計上。
- ・MTDLP 研修：発表者が少ないためやや減額して計上。
- ・託児所設置の機会を増やすと増額して計上。
- ・がんの研修については、事務局→市民公開講座へ。
- ・OT フェスタ 謝金はお支払い 交通費はなし と整理削減できた。
- ・今回の検討で、-77 万が-48 万となった。
- ・今年度実績で新入会員と退会会員を考慮すると 50 名増員していることから、次々年度も同じ会員増員と事業支出であれば、マイナス部分は相殺できる範囲である。
- ・中間決済もできるか今後検討。
- ・医療圏については、事業内容をしっかり提出してもらい、配分する必要がある。また、財務部としては予算総額を決め、その中で配分するという方法もある。まずは事業内容の提出を。
- ・託児所は全研修につけ、会員へ浸透するようにしていきたい。
- ・役員報酬について、全体を再考の上、再検討。支給範囲も含めて検討してもよいか。最終的には次回理事会で承認へ。

#### 5.第 10 回茨城県作業療法学会について

(宇都木学会部長・荒井大会長代理) →承認

- ・進捗状況のみでなく、検討事項も多いため、審議事項として扱う。
- ・基調講演については中村会長の秘書である山田様と交通費についてなど調整中。
- ・交通費は山田様がチケットを購入し、請求書を当士会に送ってくれる予定。
- ・中村会長の予定としては、2/17 (土) 18:15 上野発→19:07 土浦着。2/18 (日) 14:30 頃土浦一となっている。送迎は実行委員にて行う予定。
- ・ランチョンセミナーを聴講後、東京へ帰られる予定。
- ・懇親会については、平成 30 年 2 月 17 日 (土) 20 時～、場所は食楽 BAL TAKEO 土浦店 (JR 常磐線 土浦駅 東口 徒歩 1 分) にて実施予定。
- ・会費は 6000 円 (飲み放題プラン)
- ・実行委員、理事・監事に案内メールを送付済み。1 月 31 日返信締め切りとなっている。
- ・宿泊先については、ホテルアルファを予約。宿泊費は 6,200 円となっている。  
謝金については、日本作業療法士会業務の為、受け取れないとのこと。代わりとして記念の花束と手土産を用意する。
- ・市民公開講座を依頼している和田野先生の謝金は、一般社団法人シッティングスポーツ協会へ講演料を支払って欲しいとの依頼あり。源泉徴収を引かずそのままお支払いする。交通費は、近いのでいいとのこと。寄付金としてはどうか。
- ・当日、県士会員で市民公開講座のみの参加の場合、生涯教育基礎コース 1 ポイント付与する。(筧局長に確認済。)
- ・市民公開講座の申し込みは 14 名、車いすバスケット: 1 名、ボッチャ 8 名となっているアールと医療大の学生への広報もしていく。
- ・車いすバスケットについては、シッティングスポーツ協会から 4 名の協力を予定している。
- ・講師代は、助手扱いの謝金として 1 時間当たり 2,000 円の謝金で調整している。現在、準備を含めて 12:45～15:45 の 3 時間を予定であるが、実施時間が 1 時間半の為 3,000 円とする。
- ・車いすバスケット参加人数は年齢制限なしで 25 名を想定している。
- ・当日の流れは、車椅子操作の説明→リレー・鬼ごっこ→シュート練習→ゲーム(半面利用)を予定している。
- ・車椅子は 25 台をレンタルする予定で調整している(1 台: 1,000～2,000 円)。
- ・映像に関してはアニメーション、試合の映像の 2 箇所を用意。プロジェクターは橘先生から 1 台借りる予定。もう 1 台は県士会から用意する予定だが未定のため、当日ほかで使用する PC と合わせて調整をしていく。投射方法についても確認していく。
- ・ボッチャは、県リハスタッフが午前中から準備する予定。

- ・講師謝金・交通費はそれぞれ講師・座長に確認中。支払い方法については必要に応じて、武士理事に確認。
- ・座長へのクオカードについては 2,000 円で準備している。
- ・モーニングセミナーは、現在の申込者 1 名。郵送物・機関誌の発送が遅れているため HP 上での募集のみとなってしまうている。前日まで受け付け予定。
- ・ランチョンセミナーについては、飲食物の取り扱いについて、保健所への申請を 1 カ月前に実施。
- ・検便はココロ様のほうで実施予定。料金は茨城県作業療法士会の方で負担する。
- ・軽食代として 400 円×60 個=24,000 円を予定している。
- ・演題発表については、例年、質問が出づらいため、質問紙表を各ブースに設置する予定。
- ・ポスター展示・発表時のタイマーの係にボランティアスタッフを配置する予定。
- ・座長には、優秀演題の選出をしていただく。優秀者には賞状・500 円のクオカードを進呈する予定。
- ・学会機関誌は、これまで依頼していた印刷会社が業務縮小したことにより依頼ができなくなり、新たな印刷会社の選定・校正作業をした為、大幅に発送が遅れている。
- ・学会誌の部数については、昨年は機関誌が途中で無くなってしまった為、昨年度の部数 (1,150 部) +50 部+増えた会員数の部数(64 部) とし、1,270 部で依頼する予定。
- ・郵送については、会員、講師、各後援団体、広告掲載団体に鏡文を入れて郵送。
- ・託児所について、定員は設けていない。基本的には保育士 2 名で 5~6 名を対応する。人数が増える場合は、保育士を増員し対応していく予定。1 カ月末に締め切ったが、募集案内が機関誌に掲載されていることもあり、まだ申し込みはなし。HP 上には申し込み用紙を掲載してある。託児所で使用するおもちゃは県士会にあるもので対応予定。当日の会場の状況などについても確認していく。会場設営は前日に行う予定、マットやベッドの使用については若山さんに確認する。
- ・自助具・アクティビティコンテストは、現在演題数 4 名。機関誌に最終締め切りを 1 月 20 日としたが、案内ができていない状況。応募が無ければ、バーチャルリアリティ (VR) での認知症体験を組み込み込めるか。
- ・VR を実施した際には、ランチョンセミナーの準備があるため 20 分程度を予定。
- ・VR の体験コーナーの設置と渡邊社長のスケジュール調整。
- ・当事者作品展については、現在の応募状況約 20 名。機関紙に最終締め切りを 1 月 20 日としたが、案内ができていない状況。会場管理についてはボランティアに協力していただく。
- ・福祉機器展示については、トヨタ、幸和義肢、アビリティーズが展示予定。アビリティーズより、出展のみの申し込みあり。10,000 (+税) で公文書を作成。
- ・常任理事に相談し次年以降の出展料について作成。※別紙  
上記 3 社については、長く掲載していただいている。賛助会員として検討してはどうか。賛助会員の定義については再確認する。学会時に会長・事務局長よりご案内いただく。
- ・表彰については、自助具アクティビティコンテスト最優秀賞 2,000 円 (1 名) で検討。当事者作品展最優秀賞 3,000 円 (1 名)、優秀賞 2,000 円 (1 名)、特別賞 1,000 円 (1 名) で検討。閉会式での表彰を実施予定。会長より表彰の予定。(不在の場合は事務局長)
- ・演題表彰者の発表については、優秀者は後日ホームページに掲載する旨を閉会式でアナウンスし、総会にて、表彰・クオカードの授与を実施する予定。
- ・当日のお弁当・懇親会については、講師・講演座長は 1000 円程度のお弁当。スタッフ・発表座長は 600 円位のお弁当を用意予定。人数は確認していく。懇親会のオードブルはホットモットへ依頼予定。人数：40~50 人を予定している。
- ・ボランティアについては、学生ボランティアを 20 名程度募る予定。(案内係、ポスター展示補助、タイムキーパー、撤去作業、ランチョンセミナー補助、当事者作品展見回り、障がい者スポーツ補助)
- ・その他として、常陽リビングのハシモト様より、事務所に市民公開講座のチラシを見たので詳細を教えてくださいとの連絡あり。2015 年に県士会の市民公開講座の広告を常陽リビングに掲載したことがある様で広告掲載をしませんか。との内容であったが、今回は予算も取っていないので難しいとお伝えした。紙面の空きがあれば、無料の広告掲載をしていただけるとのこと。通常の掲載費はいくらになるかを確認していただく。
- ・学会・市民公開講座のチラシを見た方から、ホームページ上から学会の案内までのリンクが分かりにくいのご指摘があった。関理事に依頼し HP 上の学会のバナーを上方の見やすい位置に移動していただいた。

- ・1月に垂れ幕・ポスター・名札を発注する予定。学会市民公開講座のA0ポスターを印刷予定。

## 【Ⅱ報告・連絡事項】

- 1.第11回茨城県作業療法学会大会長について (宇都木学会部長・荒井大会長代理)
  - ・担当は日立医療圏。医療圏にて推薦検討していただく。
- 2.茨城県リハケア学会 (大場会長)
  - ・会長が、つくば国際大学PT宮崎先生→茨城県医師会諸岡先生が会長へ。
  - ・事務局強化は必須。PT・OT・STで受け、OTが中心となるか。事業の中心は学会。
  - ・OT側としては大場会長が中心となる予定で、事業の中心が学会になるため、教育學術局のバックアップが必要。
- 3.県内養成校との連絡協議会 (大場会長)
  - ・今年度始動する予定。
- 4.障害と自動車運転委員会 (大場会長)
  - ・教習所とのやりとりがすすんでいる。
  - ・5月に教習所教員向けの研修を依頼される。テーマは、高次機能障害となっているが、認知症とも関連させて実施したい考え。
  - ・講師は、アール医療福祉専門学校の中村先生に選定を依頼した。

次回、第2回理事会について

平成30年3月11日(日)9:00～ 茨城県作業療法士会事務所にて開催予定

議事内容：平成30年度事業計画・予算案の承認について、茨城県作業療法学会開催報告、他

以上